

1票の大切さ理解を

2年生 選挙ルール学ぶ

選挙職員2人が学校を訪問。選挙の意義について「自分の考えに近しい人や政党に投票すれば白紙委任したこと

選挙職員2人が学校を訪問。選挙の意義について「自分の考えに近しい人や政党に投票すれば白紙委任したこと

玉野高で市選管出前講座

市選管の選挙出前講座で、クイズにカードを掲げて回答する玉野高2年生



18歳選挙権が初適用された2016年7月の参院選で、18歳の投票率は玉野市が53・93%と、県全体の45・34%より高かったことを紹介。「玉野高でも多くの先輩たちが投票した。皆さんもぜひ見習って」と呼び掛けた。選挙に関する2択、3択クイズもあり、「開票結果が同数だった場合はどうやって当選人を決める?」（正解は「くじ引き」）などの問題が出された。玉野市長選時には18歳になる堀泰智さん(17)は「これまで選挙にあまり関心がなかつ

たけど、市長選は棄権の中小高校で開催せず、未来を託せる人に投票しようと思っただ」と話していた。玉野高では14日にも1年生を対象に行われる。

選挙出前講座は市内 (正本和臣)